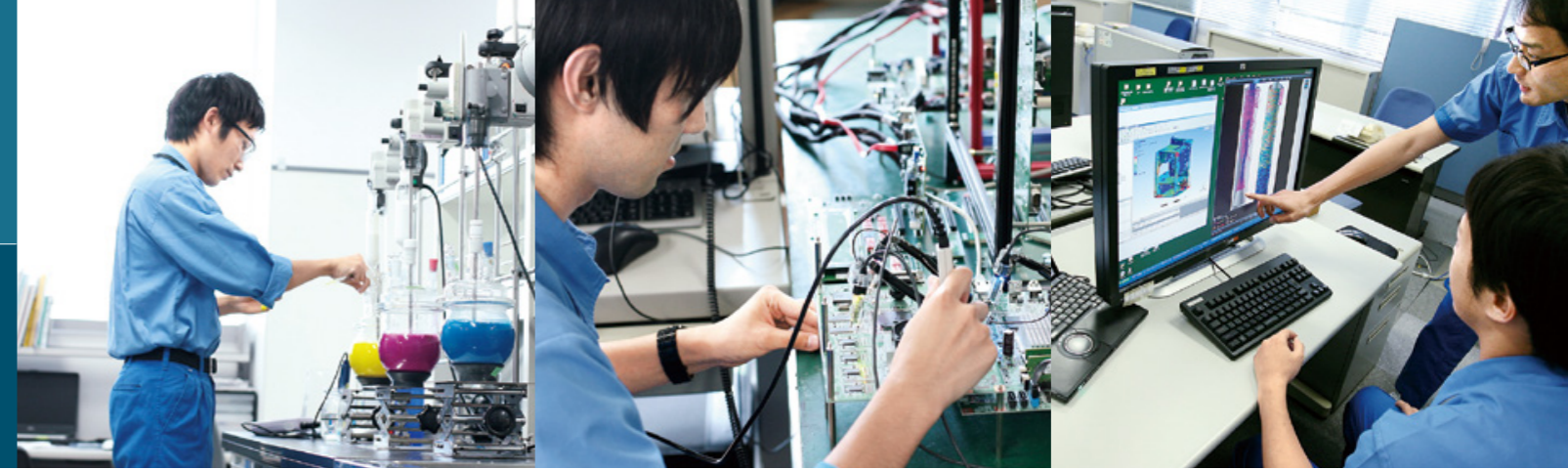


# 革新創造型の 新たなビジネスモデルへ



## 開発(インベンション)から、革新(イノベーション)へ――

コニカミノルタは、従来の「独自の差別化技術開発」をベースとした商品開発型ビジネスモデルから、「顧客価値提案、コニカミノルタのコア技術と世界の最先端技術との新たな融合」による革新創造型のビジネスモデルへと転換を図っていきます。

その一環として、お客様とのコラボレーションによる開発や、他社との技術協業による「オープンイノベーション」をさらに加速させるため、国内外のさまざまなパートナーと「共に創る」場も提供します。

私たちは、より高い志と誇りを持ちながら研究開発に励み、新しい価値を創造し、質の高い社会の実現に貢献していきます。

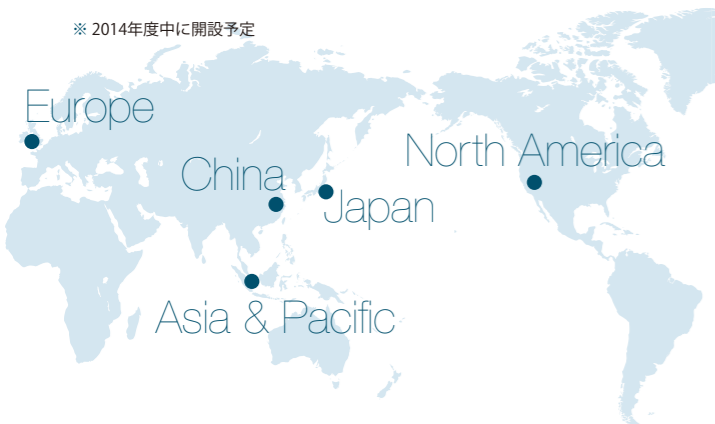
## Formation

### 全世界のお客様に根差した事業開発を行う「Business Innovation Center」を新設

コニカミノルタでは、地域・市場やお客様のニーズに即した新規サービス事業を開発・提供していくため、2014年に世界5極（北米／欧州／アジア・パシフィック／中国※／日本）体制で「Business Innovation Center (BIC)」を新設しました。

BICでは、お客様への提供価値を高めるべく、現地のさまざまな開発機関、パートナー企業など一体になって事業開発を推進します。また、BICのトップと主力スタッフは、現地にて採用した人材で構成しており、地域に密着した対応ができることも大きな特長です。

※ 2014年度中に開設予定



### 次世代型R&D施設を 東京サイト八王子に開設

2014年4月、主要研究拠点の一つである東京サイト八王子に、地上7階、延床面積約4万平方メートルに及ぶグループ最大規模の研究開発施設がオープンしました。

この施設は、多様な分野の研究を行う「知的共創空間」として、国境や組織の壁を「超越」した対話を実現する、環境性や安全性にも配慮した「スマート」な研究開発拠点を目指しており、その想いを込めて「SKT : Smart R&D Office for Knowledge Work, and Trans-boundary Communication」と名付けています。開放的なアトリウムを中心に、さまざまなコミュニケーションスペースを充実させ、豊かな発想力を磨く環境を整備しました。



## Core Technologies

### 高度で多彩な技術を融合させ、 新たな価値の創出へ

“Giving Shape to Ideas”を実践し、時代が求める新たな価値を創出していくための原動力となるのが、長きにわたり培ってきた独自のコア技術です。コニカミノルタでは、製品の魅力や競争力の源泉となる「材料分野」「光学分野」「画像分野」「微細加工分野」の4分野における12の技術を「コア技術」と定義しています。これらコア技術の複合化、融合化を進めることで、より高付加価値な製品・サービスを生み出し、既存事業をさらに進化させるとともに、次代の柱となる新事業の創造・育成に努めています。

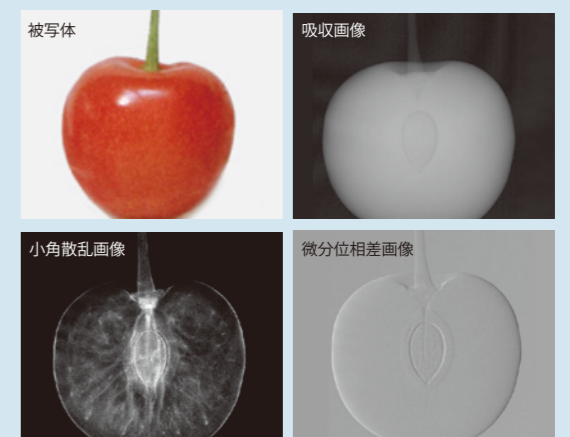


## イノベーション事例

### 産学連携による「高感度X線撮影装置」の開発

コニカミノルタは、大学や公的研究機関などとの連携による研究開発を積極的に推進しています。例えば近年では、科学技術振興機構 (JST) が推進する事業の一環として、X線の屈折を利用した革新的なX線撮影装置の研究に取り組んでいます。

従来から病院などで一般的に用いられているX線撮影装置では、骨のようにX線を吸収しやすい組織の撮影は容易に行えますが、X線をあまり吸収しない柔らかい組織や軟骨などの撮影は困難でした。この共同研究では、撮影装置に「タルボ・ロー干渉計」という原理に基づく新しい技術を導入し、柔らかい組織や軟骨のX線画像撮影に成功しました。これにより、これまで難しかったリウマチによる軟骨の異常や、ごく初期の乳がんなどを検出することが期待されます。



写真はさくらんぼの撮影サンプル。一回の撮影で、従来のX線写真に類似した画像(右上)を含む、3種類のデータを得られる。